

デジタル化推進特別委員会記録

令和5年7月13日

【開催日】 令和5年7月13日（木）

【開催場所】 第1委員会室

【開会・散会時間】 午後2時30分～午後3時32分

【出席委員】

委員長	伊 場 勇	副委員長	恒 松 恵 子
委員	白 井 健一郎	委員	藤 岡 修 美
委員	山 田 伸 幸		

【欠席委員】 なし

【委員外出席議員等】 なし

【執行部出席者】 なし

【事務局出席者】

庶務調査係長	田 中 洋 子	議事係主任	岡 田 靖 仁
--------	---------	-------	---------

【審査内容】

1 議会タブレット端末等導入状況について

- （１）会議システムSmart Discussionについて
- （２）LINE WORKSについて
- （３）Outlookメールについて
- （４）その他（端末機能、運用基準）について

午後2時30分 開会

伊場勇委員長 それでは、ただいまよりデジタル化推進特別委員会を開会いたします。皆様の御協力で、タブレット端末を使用し始めることができまして、利用状況やタブレットに入っているアプリケーション、スマートディスカッション、LINEワークス、そして、アウトルックのメール、その他等々ですね。今まで使ってみて、こう変えたほうがいいんじゃないとか、もっとこういう使い方があるとか、そういったところの協議もしながら、今回は進めていきたいなと思います。よろしくお願いいたします。まず、6月定例会でどういうふうにタブレットを使用したかとい

うところについて、まず、事務局から報告をお願いします。

岡田議会事務局議事係主任 このたびの6月定例会が、皆様にタブレットをお渡しさせていただいて、初めての定例会でございました。そして、1年間は経過期間ということで、今までのように議案や資料等、紙媒体と併用する形でタブレットを御使用いただきました。6月定例会の使用方法としては、今申し上げた紙と併用してということ、そして、今まで紙でお配りしていた議案ですとか資料ですとかは、全てデータ化して、原則的には会議システムを通して見ていただくという使用をしていただきました。

伊場勇委員長 ありがとうございます。取りあえずダブルスタンダードで、今進めている状況ということでございます。それでは、まず、会議システムのスマートディスカッションのほうから入っていきたいと思います。議員の使用状況とかというのは、例えば、これはアップロードを自分でしなきゃいけないじゃないですか。これは事務局側でアップロードしたか、していないかというのは確認できるんですか。

岡田議会事務局議事係主任 おっしゃっていただきましたように、アップロードといいますか、更新は各議員の皆様に随時行っていただくことになります。その際には、このスマートディスカッションのアプリを開いていただくと、更新しなければならぬ資料がありますよということが赤い文字で表示されますので、その都度、皆様にやっていただけているものと思います。ただ、今回は初めですので、事務局として、あえて何度か更新をお願いしますという周知はさせていただきましたが、事務局のほうで適宜、どなたが更新されているか、そういうことをチェックはしておりません。

伊場勇委員長 分かりました。事務局のチェックはしてないということですが、僕の周りには、それなりに更新をするような癖付けも、この6月定例

会でできたかなと思うんですが、皆様の委員会や本会議で、状況的にどうだったかなと思うんですが、いかがですか。きちんとできていたなら問題ないかなと思うんですけど。

岡田議会事務局議事係主任　すみません。事務局としての所感を述べさせていただきます。各委員会、タブレットの使用方法を拝見させていただきました。そうしますと、やはり最初は、更新の方法が分からないというお声も幾つかあったんですが、この6月定例会の終盤になってきますとそういうお声もなくなりまして、また、このたび資料の差し替え等を何度も行っておりますが、その都度、最新のデータを追って皆様に議論していただきましたので、特段更新が全くできていなかった方はいなかったように思われます。

伊場勇委員長　分かりました。事務局の見解通りかな。スマートディスカッションについては大丈夫ですかね。僕は、結構閲覧しやすかったんですけど、2画面使ったりして、カラーだったし、大きくもできますし、全体を小さくできますし、皆さんどうだったかなと思っています。いかがでしょうか。何か御意見あれば。

藤岡修美委員　特に皆さん問題なく使われていたような気がするんですけど、更新については、事務局で誰が更新してないかというのは確認できるんですか。

田中議会事務局庶務調査係長　事務局側で、どなたがダウンロードされていないかという確認はできません。

伊場勇委員長　委員会を運営する上で、皆さん更新されましたかというのはありましたか。

藤岡修美委員　産業建設常任委員会では、特に問題はなかったですね。

恒松恵子副委員長 隣の席で教え合うとか、あと、今まで委員会ごとに配られていた資料が全部の委員会の資料が見れるようになったので、とても知識が豊富になり、他の委員会の審査でも、気になることがあったら勉強できて、大変よかったなと思っています。

伊場勇委員長 そうですね。確かにそれはありましたね。いろいろな委員会の資料もすぐ見ることができる。あと、議員が資料請求した内容も、今までは多分、個別に渡していただけたのかな。多分見れたんでしょうけど、見方が分からなかったのかなと思います。それがすごくよかったなと思っています。今までの取扱いは、アップロードしているんですか。それはちょっと知らなかったんですけど。

岡田議会事務局議事係主任 これまで資料請求がございましたら、まず、おっしゃっていただきましたように、請求された議員の方に紙ベースでお渡ししております。その後、議員の皆様全体で見えていただけるようにファイルを御用意しておりまして、それを開放といいますか、自由に閲覧していただけるようにしておりました。

伊場勇委員長 それはどこにあったんですか。

岡田議会事務局議事係主任 議員控室に置いてありまして、今までも、こういった資料を御覧になりたいという御要望がありましたら、御案内させていただいておりましたし、事務局としては周知も行っていたつもりですが、やはりおっしゃっていただきましたように、このペーパーレス会議システムの中に入れ込むようになって、より見やすくなったという議員の方の声は、たくさんいただいております。

恒松恵子副委員長 今の委員の資料請求のほかに、一般質問での回答が、控室にあると思うんですけれども、それもそのうち、この会議システムにア

アップロードされるようになりますでしょうか。

岡田議会事務局議事係主任 御質問いただいた資料について、個別にはまだ検討しておりませんでした。ただ、皆様が御要望されて、こういった資料も必要だということであれば、もちろんタブレット等の容量に上限がございますので、その都度検討は必要ですが、なるべくお応えさせていただきたいとは考えております。

山田伸幸委員 容量のことが出たんですけど、これはクラウドで全部保存しているんじゃないかったですか。全部ダウンロードしないと見れないんですか。

岡田議会事務局議事係主任 ペーパーレス会議システム自体のクラウドはございます。ただし、皆様の端末で御覧いただくには、ダウンロードが必須になっておりますので、山田委員がおっしゃったように、ダウンロードして御覧いただくことになります。

伊場勇委員長 なので、毎回取りに行くのではなくて、取りあえず新しいのをどんどん取り入れていて、ためていくようなイメージですよ。もう一つ、たまる量ですけど、どれぐらい見込んでいるのかなと。ずっとたまっていくと、多分容量があると思うんですよ。ただ、本当に5年前のものを見たいときに、今から5年たって、そこに遡って見れるのかどうか。多分予算書とか決算書とかになると、相当なデータ量になると思うんです。その辺の見解等々を教えてください。

岡田議会事務局議事係主任 今の件ですが、まだやはり6月定例会の1回のみですので、この定例会でどれだけ容量がたまったかという個別の確認はしておりません。やはり、6月定例会、9月定例会、12月、3月と、それぞれ資料の量が全く異なってきますので、1年間でどの程度の容量をくってしまうのかを見ながら検討していきたいと考えております。そ

して、山田委員に先ほどおっしゃっていただきました予算書、決算書につきましても、やはり議会で取り扱うデータとしても、かなり容量の大きなものになるかと思います。ですので、まだ、実際にそのものをダウンロードしたことがないので何とも言えないんですが、一度、取り込む方向で考えております。ただ、それによって容量がどの程度になるかによって、検討は必要かと思います。

白井健一郎委員 今後の状況のところ、9月から議案をデータのみで、となつていますが、これは議案説明書もデータのみということですか。

岡田議会事務局議事係主任 事務局として、議長あるいは委員長と御相談をさせていただいたのが、まず、議案は全てまだ紙を用いて、ただし、それに付随する資料ですとか、事務局のほうから皆様にお配りしております議事次第書といったものはデータのみにさせていただいて、議案だけ紙ベースがあり、ほかはデータという形で、9月定例会で試行させていただければと考えております。

白井健一郎委員 このスマートディスカッションの感想を言いますと、私は整理整頓がふだん苦手なもので、議会前になると、家にたくさん資料が何十種類と来て、今日どれが必要だとか、あるいはどういう順番で置いたら議場で見やすいとか、いろいろ考えるんですけど、やはりこのタブレットを使った場合は、そういう階層ごとにきっちり整理されているので、非常にその点、便利だなと思いました。ただ、メモや付箋とか2画面使えているかどうかというところは、私はまだできませんけれども、それでも、手元のタブレットにきっちり整理整頓されているというのは、すごく役に立ちました。

山田伸幸委員 6月定例会だけでも、議案書あるいは説明資料等で、どの程度のメモリーが使われているかというのは分かっているんですか。

岡田議会事務局議事係主任 申し訳ございません。先ほど申しましたように、そのデータは持ち合わせておりません。

山田伸幸委員 スマホでもそうですけれど、やはりアクセスすると、もうそれだけでデータがたまって、次に開くときにそれからすぐ見れるように、それぞれの機械の中で体制を組むんですよね。これが繰り返されて膨大な量が入ってくると、動きそのものが非常に悪くなるということが分かっています。私も先日、自分のスマホを見てびっくりしたんですけど、やはりそういった定期的なメンテナンスが自分でできるかどうか。だから、9月議会となると決算書が出てきますので、その辺をきちんとやっていかないと、不慣れな人は相当重く感じるんじゃないですかね。まだ大丈夫かもしれないですけど、そういった注意が必要かと思います。

伊場勇委員長 処理速度のことについてですね。その辺どうでしょうか。

岡田議会事務局議事係主任 御意見頂いたように、容量の関係、処理速度の関係、注視する必要があると考えております。その上で、今はあえて個別にはかかっていないと申しましたのが、今恐らくタブレットで、皆様全体を100%とすると10%程度容量を使っていらっしゃると思います。この10%というのが、スマートディスカッションのアプリだけではなく、マイクロソフトですとか、LINEワークスですとか、それらを全て入れた状態で、まだ10%程度でございます。ですので、今の時点6月定例会が終わった段階で、スマートディスカッションだけでどれぐらい容量を使っているのかというのを調べしても、まだ本当にたまっていないので、あまり実益がないかなと思って、油断していた部分がございます。一度、確認はさせていただきたいと思いますが、今時点では、まだ容量が潤沢にございますので、処理速度の点は当面問題ないとは考えております。

山田伸幸委員 それと資料作成のときに、今だったら、いちいち紙の資料を読

み取ってということはしてないと思うんですけど、執行部から上がってくるデータにしても、紙ベースではなくて、そういうデジタルデータで来ているのかどうか、その点どうですか。

岡田議会事務局議事係主任 その点に関しましては、市役所で公文書进行处理するものとして文書管理システムがございます。今は全庁的に、そういった文書管理システムにおいても電子化が進んでいるのですが、一部紙で処理しなくてはならない公文書というものが残っております。今おっしゃっていただいた資料請求というものが、文書手続上、その紙で処理しなくてはならない公文書に該当しますので、執行部からこの資料請求に関しては、紙でいただいており、それを紙でいただくと同時にデータでもいただく、若しくはデータがないものと、事務局でスキャニングをしてデータ化して、スマートディスカッションに入れ込む。そういった処理を行っております。

山田伸幸委員 スキャニングするときに、気をつけておかななくてはいけないのは、いわゆるデータ上のごみですね。これをやっておかないと、通常の必要なデータの2倍ぐらい、ごみが付いて入ってくることがあるんですよ。それをよく調べられたほうがいいと思うんです。私はいつもごみ除去をやった上で取り込むようにしているんですけど、その辺の対応というのは何かされていますか。

岡田議会事務局議事係主任 やはり、あまり容量を大きくしないように読み取れる程度に解像度を落としたりですとか、そういった工夫はしております。

伊場勇委員長 なるほど。この資料恵与も何かデータで欲しいですよ。何かいろいろ自分で加工するときとか、データだったらコピーができて貼つけたりとか、そういうのも容易にできるんですけど、紙だとコピーできないですよ。ただ、PDFとかで来ていいなと思っています。それ

は結構時間かかるんですかね。多分、執行部側の対応だと思うんですけど。公文書の扱い方にもよるのかな。それは、例えば、こっちが要請してもちょっと時間かかりますよという話ですか。結構すぐできるものじゃないかなと思ってしまうんですけど、それは難しいですか。

岡田議会事務局議事係主任 資料請求されたものにつきましては、執行部側からもPDFデータで頂くことが多いですので、それをそのままスマートディスカッションに入れさせていただいています。また、このスマートディスカッションから、この資料請求されたデータにつきましては、ダウンロードしていただけて、お手元のタブレットの中にデータを入れ込むこともできますので、そのように現在のところは対応しております。

山田伸幸委員 私の場合は、頂いたデータをそのまま使うのではなくて、それをデータに起こして、クロス集計等をして、より詳しいデータに作り変えるということをこれまで何度もやってきています。そういったときにPDFだと打ち直しが必要になってくるんですよね。ですから、そういった数字として読み取れる元データということが必要な場合が出てくるんじゃないかなと思うんですけど、どういう対応になるのでしょうか。

岡田議会事務局議事係主任 この資料請求だけで申しますと、基本的には執行部にある資料を請求するものになります。ですので、執行部側で、データを持っていらっしゃるものであればデータで送っていただいて、それを各議員にお送りすることをお願いすることは可能かと思えます。ただし、紙ベースでしか執行部が持っていらっしゃらず、PDF状態でしかお送りできないというものに関しては、それをワードですとか、別の形式で再度作っていただく、そこまで請求できるものではないと考えております。

伊場勇委員長 山田委員が全校生徒の全人数とか、請求していただいて、すごく分かりやすかったし、それは僕もちょっと違うところで使おうかなと

思っ、やっぱり打ち込まなきゃいけなくて、データを移行するだけなのになと思っしまいました。それをお願いしたらくれるけどということですね。分かりました。

山田伸幸委員　そういうときは、データではなくて、正式な紙、配慮していただいていただけるとのことですよ。

岡田議会事務局議事係主任　資料を請求する形が、これまで紙ベースが当たり前でしたので、現在どういった形で頂くという取決めは具体的にはございません。ただ、これは具体的に取決めをしなくても、山田委員におっしゃっていただきましたように、どういった形でとお願いをして、それに適した形で電磁データを頂けるようにはしていきたいと思っます。

伊場勇委員長　なるほど、分かりました。先ほど、白井委員が議案説明もデータですか、紙ですかとおっしゃったと思うんですけど、それは紙のほうが取りあえず使いやすいと、委員は思っていらっしゃるんですか。データのほうがいいとか、何かそういうのがあるから、先ほど言われたんですか。特に関係ないですか。その辺いかがですか。

白井健一郎委員　特に何もありません。

山田伸幸委員　執行部の説明資料というのは、私たちもらえてないんですよ。今でももらえてないんですよ。ですけど、それがあると、非常に質問がしやすくなるんですね。誰かもらっているかもしれないんですけど、これは基本的にないと思っます。議案説明が最初にもらえるのは、市長が登壇して読み上げる分だけ。本当に私たちが見たいのは、執行部が委員会で読み上げる議案説明です。これは、本当もらえるものならもらったほうが、後々の質問のときに、それは先ほど説明しましたよという形にならずに済むんですよ。それとか、先ほどこういう説明をされましたけど、これはどういう意味ですかとか、あるいは過去にこういう説明を

しておられるんですが、違っているんですかというような確認にも使えるわけですね。それが、そういう議案説明までも含めて、もらえるものかどうか。それはどうでしょうか。

岡田議会事務局議事係主任 直近の議会運営委員会でも、議運決定事項の一部にもなったかと思うんですが、やはり原則として、全て言論で行っていただく、言論の府という言葉もございますので、それが原則であると考えております。ただ、執行部側から、その議案とかの説明、議員の皆様方に分かりやすくスムーズに審査をしていただくために資料というものは出していただいております。ですので、どの程度の資料が必要かというところの判断も含めて、原則的には執行部に行っていただいておりますので、こちらからさらに説明資料を求めることが適切かどうか、この場では回答を差し控えさせていただきたいと思います。

伊場勇委員長 でも、山田委員の御意見も1意見だなと思うところもありますし、その辺については、また議論していきましょう。ちょっと一つですね、スマートディスカッションの中で資料請求（恵与関係）のところこのパーソナルというファイルがあるじゃないですか。パーソナルないですか。僕だけですか。資料恵与開いたら資料恵与だけですか。（発言する者あり）そうなんですね。画面がすぐ共有できたらいいんだけど。

岡田議会事務局議事係主任 委員長がおっしゃったパーソナルとおっしゃるのが、恐らく各議員の皆様、お手持ちの端末で御自分にしか見れないフォルダになるかと思います。このフォルダがあるかないかといいますのが、恐らく資料恵与ですとか、スマートディスカッションの中に入っているPDFデータを保存されたかどうかによって変わるのではないかと思います。ですので、そういった操作をされているか、されていないかで、そういったパーソナルフォルダがある方とない方がいらっしゃると思います。たしか自動生成されるフォルダであったと記憶しております。

伊場勇委員長 自動生成したものか。ちょっと待ってくださいね。共有しよう。

岡田議会事務局議事係主任 今回のパーソナルデータの詳細な仕様につきまして
は、確認させていただきます。

伊場勇委員長 分かりました。今LINEワークスで共有したものが、僕の画面なんです。LINEワークスで共有しました。LINEワークスを開いていただいて、デジタルのページを開いてもらったら分かるかな。このパーソナルというのは、事務局がこれを作ってくれたということですか。もう1回説明してください。お願いします。

岡田議会事務局議事係主任 パーソナルフォルダにつきましては、事務局で作成したものではございません。こちらは、スマートディスカッション内にあるファイルを個人的に保存されたときに、このフォルダが自動生成されて、その中に格納されるというフォルダであったと記憶しています。

伊場勇委員長 僕は知らずに自然に作っていたということですね。分かりました。僕が画像1枚送っています。僕の画面は、こういうふうにパーソナルとなっていて、スマートディスカッションで自分だけのファイルを作って保存した場合には、このパーソナルというのが出てくるらしいです。それでは次に行きます。LINEワークスのほうの意見も知りたいと思います。最後に確認です。9月からは、議案は紙媒体だけど、そのほかの資料等はデータで行きますよということですね。再確認をお願いします。

岡田議会事務局議事係主任 はい、そのとおりでございます。

伊場勇委員長 分かりました。それではLINEワークスのほうに戻ります。
これを使うに当たって、初めあまり情報がばんばん来過ぎると、もう嫌になって見なくなるという話もあったりしたと思うんですよね。これは既読がきちんと付いているかどうかというところも、事務局で把握され

ていると思うんですけど、結構きちんと見てくれているのかどうか、その辺どうですか。

岡田議会事務局議事係主任 既読の状態につきましては、事務局の所感としては、定例会中といったときには、皆様、比較的早い段階で御覧いただいていることが多かったかなとは思いますが、やはり既読がつかない方、そのときつかなかった方というのもしらっしゃいましたので、その際には、お電話で御連絡等して促しをさせていただきまして、こまめにチェックしていただくように再度お願いしております。

伊場勇委員長 皆さんの携帯にこのLINEワークスは入っているんですか。

岡田議会事務局議事係主任 事前に研修をさせていただきました際に、このLINEワークスに関しましては、皆様の同意を得て、同期させることができるとお話をしたところ、皆様それを希望されましたので、皆様の携帯と同期しております。

伊場勇委員長 なるほど。実際、電話している人というのは何人ですか。名前はいいですけど。その情報発信をして、その後見られていないなということで事務局から電話をしているのは、大体何名ぐらいですか。

岡田議会事務局議事係主任 これが特定の方というわけではございませんで、やはりその時々で忙しかったりですとか、何か御事情があったり、そういったことがありますので、誰か特定の方がいつもという印象は持っておりません。

伊場勇委員長 大体どれぐらいの人数ですか。やっぱタイムリーに出さなきゃいけない。見てほしいものによって違うかもしれないけど、それが二、三人ぐらいは電話している感じですか。どうですか。

岡田議会事務局議事係主任 必ずしも毎回電話をかけているわけではなく、これは私が担当しているものに限った個人的な意見ですが、私はあまり電話をかけたことがございません。やはり見ていただきたい、その期限までには御覧いただけているという、私が担当しているものに関しては、そういった状況でございます。

伊場勇委員長 なるほど。分かりました。

白井健一郎委員 今話を聞いて思ったんですが、直前になってどどっと入ってくるケースが結構多いと思うんですよね。そうなってくると、もう何日の何時は第何委員会室でやるということは分かっている、ただ、そこでタブレットを持って待っていると、そこにどんどん、まさに例えば、会議の10分前、15分前、30分ぐらい前にどどっと入ってきますので、その点がちょっと不便さを感じるんですよね。やはり直前になるのはやむを得ないですか。

岡田議会事務局議事係主任 ケースバイケースではあるんですが、委員会を急遽開催しなければならないということもございますので、その際はやむを得ないものと考えます。あと恐らく、その委員会開始前にポップアップがされるというのは、事前にカレンダー等に登録をしておきまして、それが、委員会開始何分前になるとお知らせが来るという設定になっておりますので、そのことも含まれているのではないかと今考えました。

伊場勇委員長 それも含まれる感じですか。

白井健一郎委員 はい。今のお答えで了解しました。

伊場勇委員長 これはタイムツリーと今併用しているんですか。どっちもアップしていますか。もう使ってないので、よく分からなくて。教えてください。

岡田議会事務局議事係主任　これまで、皆様等の情報共有を行うために使っておりましてタイムツリーのアプリケーションは、先月末をもちまして、山陽小野田市議会としての使用を終了いたしまして、今月からは、こちらタブレットの中に入っておりますLINEワークスのカレンダー機能におきまして、情報を共有させていただいているところです。

山田伸幸委員　情報共有と言われましたけど、ただ、スケジュール、そこがほんと時間と開催だけが来るんですけど、何をするのかが入ってきませんよね。例えば、今日のデジタル化推進特別委員会にしても、第1委員会室はあるけど、簡単な議題というか、その辺が要るんじゃないかなと思うんですけど、どうでしょうか。

岡田議会事務局議事係主任　今の点につきまして、やはりこの会議が開かれる、そして、その内容がどういったものであるという正式な文書は、開催通知でございます。ですので、カレンダーは補助的に、この日にこういったものがあるということを確認していただいて、そのカレンダーの内容に入れ込めるものにも限りがございますので、正式には開催通知をその都度、確認していただけたらと思います。

山田伸幸委員　開催通知をカレンダーに入れるというのはできないんですか。

岡田議会事務局議事係主任　カレンダーに添付資料を付けるという運用は考えておりません。こちらは、開催通知を別途の手段で送っているということです。あと、やはりアプリケーションが少しでも重くなるのを防ぐために、二重三重となるような送り方は極力避けているという運用がございます。

山田伸幸委員　今言われた二重三重を防ぐ意味でも、カレンダーにそれが入り込むなら、入れたら、それで1回で済むんじゃないですか。

岡田議会事務局議事係主任 そのカレンダーにそもそも添付ができるかというところも確認しておりませんので、これは確認をさせていただきたいと思います。

伊場勇委員長 そうですね。僕もそこを思っていて、メールで来るのとスマートディスカッションでも開催通知があがりますよね。それは、あがらないんでしたっけ。開催する次第が、スマートディスカッションであるんですね。これは、メールで送らなきゃいけないという決まりがあるんですか。

岡田議会事務局議事係主任 メールで送らなければいけないという決まりはございません。ただし、開催を通知しなければいけないという決まりがございますので、委員会の次第書と別に開催通知を送り、何かしらの手段で、皆様に開催を知らせるための通知をお送りする必要がございます。

山田伸幸委員 それは、これまでの場合は手紙という形になるんじゃないかなと思うんですけど、その辺の何か決まりがあるんじゃないですか。どうですか。

岡田議会事務局議事係主任 山田委員がおっしゃいましたように、決まりといいますのが、開催をお知らせするという決まりはあったと記憶しています。ただ、その手段がどういった手段でないといけないと明文化されたものはなかったと記憶しています。

山田伸幸委員 できるだけ議会のものはまとめていただきたいので、もし、LINEワークスで済むのなら、それでやっていただいたほうが、確認する側としてはありがたいですね。

伊場勇委員長 そうですよ。必ず見るほうは、LINEワークスを見て確認

をすることになったら便利ですよ。

山田伸幸委員 もう一つ。メールのほうは、こういう言い方をしたら失礼かもしれないけど、いろいろなところから大量に来るんですよ。あまりにも多過ぎて見落とすことがあるんですよ。半日で50件ぐらい入ってきて、それを消すのに一生懸命で、もしかしたら、市議会のメールを消してしまったかなということもあって、時々確認したりするんです。LINEワークだったら消すことはないです。

伊場勇委員長 必ず見るところに集約するというのは、本当に利便性が向上するんだろうと思いますけど、そのデータとか仕組み等にもよるかもしれません。ちょっと調査しておいてください。お願いします。このLINEワークスは、見たかどうかがもう分かるんですけど、そこに了解しましたとか、返信されている状況がありまして、これは周知するべきかなと思ったんです。

岡田議会事務局議事係主任 今御指摘いただいたことを事務局でも考えておまして、やはり見ましたよというお知らせ、お気持ちすごくありがたいところではあるのですが、やはり、デメリットといたしまして、了解しましたと送っていただくことによって、本来お知らせしたい通知がどんどん画面外に押しやられてしまうということもありますし、返信が多くなってしまって煩雑に感じるというところもございますので、事務局からの通知に関しましては、もう返信御不要ですという旨を、どちらかで皆様に周知をさせていただく機会を設けたいとは考えております。

伊場勇委員長 分かりました。このことについては、この委員会から発信してもいいかなと思います。

山田伸幸委員 LINEワークスを見ていたら、いろいろお知らせがあって、7月12日放送予定の云々で長い文書がいっぱいあって、今度7月25

日の議員連絡会がありますよね。これを見ると、議題もいくらでも入れられるんじゃないかなと思ったんですけど、どうですか。カレンダーには入らないかもしれないけど、トークのほうで入れられるのではないかなと思ったんです。

伊場勇委員長 その量にもよるかな。すごい量になるときもあるのかな。

岡田議会事務局議事係主任 現在、タブレットを導入しまして、まだ日が浅く、私たちもどのような手段がよろしいか、皆様にとって最善なのか、試行錯誤しながら行っている段階でございますので、今頂いたような意見を事務局に教えていただきましたら、その都度検討させていただきたいと思います。ただ、山田委員がおっしゃる意見がすごく良いと思われる方もいらっしゃるれば、メールで送ってほしいと言われる方もそれぞれ意見があると思います。ですので、その辺りは皆様と御相談をさせていただきながら、この委員会等でも話し合っていたきながら、考えていけたらと思います。

伊場勇委員長 ファクスの方がいい人もいらっしゃるかもしれませんが、これはもうどっちかに振ってもらわないといけけないので、そこは、また、この委員会でも意見をまとめて、こうなりましたので頼みますと言わなきゃいけないのかなと思います。

山田伸幸委員 私の習慣として、以前は朝必ずタイムツリーを確認するようにしとったんですね。最近では、このLINEワークスを必ず開いて、怠りがないように気を付けてはいるところです。

伊場勇委員長 なるほど。分かりました。これは、議運で少し議論になったんですけど、例えば、委員会中とか本会議中に、議員同士がこのメッセージをやりとりしていいのか、悪いのかみたいな話になったんですよ。いいか悪いかというと、それは、審議に慎重にならなきゃいけないので、

関係ないことを送ることはよくないと思うんですが、そこまで内部を干渉する必要があるのかというところまでになるかと思えますし、そもそも良識のある方たちが集まって、風紀を乱さないように使うように運用基準には書いてありますから、その辺は、もう議員に任せていいのかなと思っています。特にメッセージを送ることがないことはないかもしれませんがね。その辺は、もう議員に委ねるという感じでいいのかなと。議運で話し合ったので、ここでも話し合っておかなきゃいけないのかなと思えますけど、その点について御意見ありますか。

藤岡修美委員 委員長が言われたように、そこは議員の良識に委ねるということだと思います。

伊場勇委員長 ありがとうございます。そういったことにしておきましょう。

タブレット等の使用に当たっては、議会の品位を重んじた良識のある使用を心がけなければならないというところの一言に尽きるということで、よろしくお願いいたします。そのほかLINEワークスで気になるところはありますか。

藤岡修美委員 私はほとんどスマホで見るようにしていますが、掲示板が開かないことがあります。皆さん、そういうことはなかったですか。

伊場勇委員長 僕の携帯は、掲示板見れますよ。タブレットで見るんですか。それはちょっと不便ですね。なぜでしょうね。

岡田議会事務局議事係主任 個人のスマートフォンとの同期に関しましては、やはり皆様それぞれお持ちの機種によって、設定ですとかそれぞれ異なっていると思います。ただ、一律で掲示板が見れないという不具合は聞いたことがございませんので、そういった症状がある方の機種といえますか、端末を拝見して確認させていただきたいと思っています。

伊場勇委員長 何かあれかな。見ているかどうか、見ているのに見てないことになってずっと残っている。これを既読かどうか判断できますよね。それで誤認識されても、また手間になってはいけないので、分かりました。これも確認事項ですね。LINEワークスはよろしいでしょうか。情報発信の頻度は、これぐらいは必要かなと思いますし、カレンダーも使いやすいですので、また、何かありましたら御意見ください。次にアウトLOOKメールについてですね。開催通知を送られているということですが、これも返信はする必要はないですよ。返信している方はいらっしゃるんですか。

岡田議会事務局議事係主任 こちらのメールに関しては、返信をいただく必要ございませんし、返信されている方もいらっしゃいません。

伊場勇委員長 なるほど、分かりました。そしたら、ないでしょうけど、これはLINEワークスのトークのところの返信も含め、アウトLOOKでの情報についても、お気持ちはありがたいですがみたいな。

山田伸幸委員 これはアウトLOOKでないといけないんですか。

岡田議会事務局議事係主任 タブレットの導入に当たりまして、メールを送受信できる機能を持ったアプリケーション入れることを選定の条件としておりまして、そして、その選定された事業者がアウトLOOKを選ばれたということでございますので、皆様に統一で入っているのは、アウトLOOKでございます。

伊場勇委員長 そうですね。基本、この山陽小野田市議会G1から21まであるんですね。基本、この中は議会だけですもんね。ほかのメールが入り込まないようになっていますが、これは、個人のメールがあるじゃないですか。それと一緒に送っているんですか。それと別々というか、それにも送っているということですか。

岡田議会事務局議事係主任　こちらに関しましては、ただいま先ほど過渡期と申させていただきますとおり、やはり、事務局内では、何かパソコンで作業していただく必要があったりといったものは、従来どおり皆様が作業しやすいように、パソコンのほうのメールにお送りしております。ただ、開催通知等はアウトルックでお送りしているという状況です。

伊場勇委員長　分かりました。基本は、この山陽小野田市議会G何とかに送ると。ただ、そのパソコンの編集があるような、例えば、パワポとか、議会だよりとか、論点の回答とか、そういったものは、その個人用のほうにも送っているということですね。分かりました。アウトルックについて、ほかいかがでしょうか。僕は、個人でアウトルックメールを使っていて、パソコンと携帯両方見れるようにしているんですよ。なので、そのメールアドレスのアカウントを多分こっちも入れたら、見れるような形になるんだろうなと思っています。アウトルックメールについては、これぐらいにしておきましょうか。もう全体的にそのほか、まず、事務局からして執行部のスタンスはどんな感じですか。もうなんか一気に、本会議場はタブレットを持っていたり、ノートパソコンを持ったりするんですけど、やっぱり資料がスピーディーに来たりとか変わったりとか、そういうところは、もっともっとスピード感を出せるのかなと思ったりするんですよ。いろんな書類とかも一緒ですけど、その点、執行部の取組状況とかをどういうふうに事務局的是見しているのかなと思って。

岡田議会事務局議事係主任　委員長がおっしゃいましたように、本会議場にノートパソコンを持ち込んでいらっしゃる。また、担当部局によっては委員会においてもパソコンを持っていたらっしゃって、審査を受けているという状況は把握しております。ただ、それ以上のことになると、事務局として、特に何か把握していることはございません。

伊場勇委員長　市長も副市長もタブレットを持って、いろいろ発言等々されて

いましたし、雰囲気はデジタルのほうに一気に流れはなっているけど、もっと使い勝手というか、利便性向上するために何かもっと執行部とのデジタル的なデータのやりとりとか、その辺がもっとできるようになればいいのかなと思っています。その辺については、まだ研究なのかな。

白井健一郎委員 議場に実際いらっしゃる傍聴者や家でパソコンで見られている方に対してのいろいろな資料の公開ですよ。そういうものは、今までどおりのことが保障されてはいるんですか。

伊場勇委員長 それは、今までどおりのことが保障されていると。プラスですよ。プラス、ちょっと待ってくださいとか、作り直しますとか、また周知しますとか、そういった時間がかからなくなるというか、そういうところがあるかなと思うんですよ。

岡田議会事務局議事係主任 先ほどの執行部の取組の件についてですが、執行部側もノートパソコンを本会議場に持ち込まれるに当たりまして、議会の資料を執行部が見れるように、執行部の資料を議会が見れるようにというやりとりは、執行部の総務課を通じて、事務局とデータのやりとり等はさせていただいています。先ほどの取組の件での補足になります。

伊場勇委員長 分かりました。そのほか何かありますか。皆さん、それなりに持ち歩いてはいただいている。議会に来るときは持ってきていただいている。あと、通信をどれぐらい使っているのかなと思ってですね。ほかの方々、Wi-Fiが家にはない人もいるかもしれないので、その辺どうですか。

岡田議会事務局議事係主任 何か申入れがない限り、議会事務局から誰が幾ら使っているだろうかと個別にお調べすることは特に想定しておりません。ただ、以前、そうは申しまして皆様このたびでどれぐらい使われたかというのを確認するために、一度、全体の状況を拝見したことがござい

ます。そのときは、感覚で申しますと、半分程度、3ギガがございました。1.5ギガ程度を使っている方は何人かいらっしゃいましたが、皆様それ以下という状況ですので、Wi-Fiでつないで使っていただいているのかなとは考えております。

伊場勇委員長　そうですね。僕も家に帰ったらWi-Fiにつながるようになってますし、視察に行ったときは、いろいろこれで調べたりはできました。画面が大きいから使いやすかったし、自分の携帯をテザリングするときもありましたけど、動画とか見るときは容量が多くなっちゃうと思うので。

岡田議会事務局議事係主任　補足でございます。ですので、最もデータ容量を使っている方でもそれぐらいでしたので、その容量が足りないですとか、通信制限にかかってしまったという申出をいただいたことはございません。

伊場勇委員長　なるほど、分かりました。そのほかいかがでしょうか。何点か今取り組もうとか、周知しようといったところは、正副委員長でまとめさせていただいて、全議員にはお知らせしようかなと思います。また、9月定例会が始まる前にも、データのみになりますという部分については、もう1回きちんとお知らせすべきかなと思いますので、その辺は正副委員長で取りまとめたいと思いますので、お願いします。

恒松恵子副委員長　タブレットの話を本日中心にしましたが、Y-BASEの視察の話があって、視察に行けていない状況なので、ぜひ機会があれば、今もう混み合う状況が少なくなったと聞いておりますし、コロナも落ち着いたので、みんなで行ってはどうかなと考えます。

伊場勇委員長　それについては、向こうの予定もあると思うので、盆明けでもいいか。8月末は、9月定例会が始まりますので、それまで予定が組め

るかどうか、また、連絡取り合いながら向こうの状況も聞いていただいて、それは一ついいかなと思います。

白井健一郎委員 ここにいらっしゃる委員がどの程度使えているかという話は、いろいろ出てきているんですけど、実際に、ほかの議員がどうなのかというところがちょっとまだですね。私としては、やはり苦手意識を持っている人の下支えになりたいなというところもあります。

伊場勇委員長 そうですね、なるほど。何かございましたらと言っても、なかなか言ってこられないと思うので、そこは個別に聞いていこうかなと思います。LINEとかメールで何かございましたら送ってくれよりも、具体的に聞いたほうがいいのかと思います。例えば、会派があるところは会派できちんと持ち帰っていただいて聞いてみるということ、それ以外は、正副で個人的に聞いていこうかなと思います。いいですか。（「はい、大丈夫です」と呼ぶ者あり）では、そういうふうにしていこうと思います。そのこと大事ですね。ありがとうございます。そのほかにはいいですか。全てを使いこなすことは、なかなか、メモや付箋やアンダーラインは、もう使っていくしかないのかなと思います。よりアップロードされて使いやすくなると思うので、後退することはないと思います。もしアップロードが大きく変わったりしたときには、研修等々あるんですよね。

岡田議会事務局議事係主任 そういった大幅な仕様の変更というものは、特に想定していないんですが、万が一そういうことがあった場合には、契約事業者と相談しながら対応させていただきたいと思います。

伊場勇委員長 分かりました。オーケーでしょうか。（「はい」と呼ぶ者あり）そのほかなければ、終わろうと思います。先日、市のほうが日本情報通信株式会社と生成AIのことについてやってらっしゃって、生成AIのビングAIを今、執行部が使っているということで、議会でも、事務局

が例えば、委員会報告とか議事録を質問文書にばつと並べて、これを何文字以内に要約してくださいと言ったら、生成ＡＩが要約してくれるじゃないですか。そういったところを推奨するべきかどうかということも含めて、また、これも検討課題の一つかなと思います。執行部は、もうぜひ使っていこうと。ただ、それを信じきるのではなく、パートナーとして使いましょうという位置づけですよ。だから、そこは楽をしようとかではなくて、効率化を図るために必要な大事な時間を削減できるのであれば、使うべきかなと思います。それが、どういうふうに出していくのか、議会としての立場や考え方や方針というのは、また議論していきたいなと思っておりますので、その辺も個人個人も調べておいていただけたらと思います。お願いします。それでは、以上で本日のデジタル化推進特別委員会を閉会いたします。お疲れ様でした。

午後 3 時 3 2 分 散会

令和 5 年（2023 年） 7 月 1 3 日

デジタル化推進特別委員長 伊 場 勇